

自然災害時の欠席学生に対する各学部等での対応について

休講基準に当てはまらず、授業を行う場合においても、学生自身の居住場所等に警戒レベル3以上が発令されており、避難が必要な場合等により、安全を確保できない時は、学生自身の判断により授業を欠席することを認めます。なお、その場合、学生は必ず授業開始までに、下記のメールアドレス（各キャンパス教務部署）に必要事項を記載の上、連絡をしてください。

なお、欠席した場合、下記のとおり対応しますが、レポート等の提出をもって出席として扱うなどの対応があるため、後日、必ず授業担当教員に学生各自が、対応方法を確認してください。

【メールアドレス】

東広島キャンパス所属学生 HIU.Kyomu@josho.ac.jp
呉キャンパス所属学生 HIU.Kyomu.k@josho.ac.jp
広島キャンパス所属学生 HIU.Mbu@josho.ac.jp

【必要事項】

- ① 学生番号、氏名
- ② 欠席する日
- ③ 欠席する授業科目名
- ④ 欠席理由

◇講義科目の対応方法◇

【通常授業日】

保健医療学部	担当教員と相談の上、レポートや課題の提出をもって出席として扱う。
総合リハビリテーション学部	補講実施を原則とする。ただし日程上の都合などにより実施が困難な場合は補講に代わる課題を提供する。
医療福祉学部	課題の提出をもって出席として扱う。
心理学部 (心理科学部)	レポートや課題の提出をもって出席として扱う 上記対応については、コースパワー、電子掲示板にて周知する。
医療経営学部	レポートや課題の提出をもって出席として扱う。 上記対応については、コースパワーや掲示にて周知する。
看護学部	レポートや課題の提出をもって出席として扱う。演習科目も同様とする。
薬学部	学生からの申し出に基づき、欠席した学生に不利が生ずることが無いように担当教員が適切に対応する。対応方法としては、授業内容に合わせてレポートや課題の提出を求める、あ

	るいは必要があれば個別に補講を実施する等とするが、補完方法については担当教員の裁量に任せるものとする。
医療栄養学部	レポートや課題の提出をもって出席として扱う。
助産学専攻科	補講またはレポートや課題の提出をもって出席として扱う。
大学院 実践臨床心理学 専攻	個別に対応する。
他大学院	別途個別に対応する。

【試験日】

保健医療学部	忌引き・病欠と同等の扱いとし、追試験を実施する。
総合リハビリテーション学部	別日に試験を行うことを原則とする。
医療福祉学部	追試験または課題の提出をもって評価を行うが、その選択は担当者に任せる。
心理学部 (心理科学部)	欠席扱いせず、別日に試験を実施する。 状況に応じて、レポートや課題の提出をもって、試験の評価とみなす場合もある。 上記対応については、コースパワー、電子掲示板にて周知する。
医療経営学部	欠席とせず、別日に試験を実施する。 状況によってはレポートや課題の提出をもって、試験の評価を行う場合もある。上記対応については、コースパワーや掲示にて周知する。
看護学部	追試の対象とする。
薬学部	学生からの申し出に基づき、病欠等の正当な理由による試験の欠席者に対する措置と同様に追試験対象者として対応する。当該学生へは、授業担当者が責任を持って対応する。
医療栄養学部	追試験の実施（再試験も認める）。
助産学専攻科	欠席扱いせず、別日に試験を実施する。
大学院 実践臨床心理学 専攻	欠席とせず、別日に試験を実施する。 状況によってはレポートや課題の提出をもって、試験の評価を行う場合もある。
他大学院	別途個別に対応する。

※自然災害での欠席による追試験は特別試験として扱い、試験料は徴収しない。

◇実習・演習科目の対応方法◇

【通常授業日】

保健医療学部	担当教員と相談の上、原則補講を実施とするが、日程調整が困難な場合はレポートや課題の提出をもって出席として扱う。
総合リハビリテーション学部	補講実施を原則とする。ただし日程上の都合などにより実施が困難な場合は補講に代わる課題を提供する。
医療福祉学部	授業担当者と協議して課題を出す。
心理学部 (心理科学部)	学外実習に関しては欠席扱いせず、受け入れ先と調整して別日を設定する。 学内実習に関しては欠席扱いせず、別日に実施する。 状況に応じて、レポートや課題の提出をもって出席として扱う。 上記対応については、コースパワー、電子掲示板にて周知する。
医療経営学部	学外実習については、欠席扱いせず、実習先と調整し別日を設定する。 学内実習については、欠席扱いせず、別日に実施するが状況によっては実習担当者と協議し課題を課す等の対応をする場合もある。 上記対応については、コースパワーや掲示にて周知する。
看護学部	看護学部の内規に従い、4/5までは通常の欠席扱いとする。他の欠席も含めてこれ以上の欠席になる場合は、実習施設側とも話し合い、何らかの形で補充実習を行う（実習施設の都合によっては、翌年に補充実習となることもあり得る）
薬学部	学生からの申し出に基づき、病欠等の正当な理由による実習欠席者に対する措置と同様に、別途時間を活用して不足分を最大限カバーすべく追実習等を実施する。演習科目については、講義科目の場合と同様な措置を図るものとし、担当教員が個別に適切に対応する。
医療栄養学部	別課題の補習に出席する。
助産学専攻科	助産学専攻科の内規に従い、4/5までは通常の欠席扱いとする。自然災害による欠席日数がこれ以上になる場合は、実習施設側とも話し合い何らかの形で補充実習を行う。
大学院 実践臨床心理学 専攻	学外実習に関しては欠席扱いにしない。受け入れ先と調整して別日を設定する。 学内実習に関しては欠席扱いとしない。別日に実施する。 状況に応じて、レポートや課題の提出をもって出席として扱う。
他大学院	別途個別に対応する。

【試験日】

保健医療学部	忌引き・病欠と同等の扱いとし、追試験を実施する。
総合リハビリテーション学部	別日に試験を行うことを原則とする。
医療福祉学部	実習・演習科目において試験は実施していない。

心理学部 (心理科学部)	欠席扱いせず、別日に試験を実施する。 状況に応じて、レポートや課題の提出をもって、試験の評価とみなす場合もある。 上記対応については、コースパワー、電子掲示板にて周知する。
医療経営学部	欠席とせず、別日に試験を実施する。 状況によってはレポートや課題の提出をもって、試験の評価を行う場合もある。上記対応については、コースパワーや掲示にて周知する。
看護学部	なし
薬学部	試験に対しては、講義科目に対する試験への対応と同様の措置に準ずる形で対応する。
医療栄養学部	追試験の実施（再試験も認める）。
助産学専攻科	実技試験に関しては、欠席扱いせず別日に試験を実施する。
大学院 実践臨床心理学 専攻	実習・演習科目について、試験は実施していない。
他大学院	別途個別に対応する。

※自然災害での欠席による追試験は特別試験として扱い、試験料は徴収しない。

◇上記以外の方法により対応する科目◇

【医療福祉学部】

科目名	対応方法
社会福祉援助技術演習Ⅰ	【通常授業日】 授業担当で協議して課題を出す。 【試験日】 試験は実施していない。
社会福祉援助技術演習Ⅱ	【通常授業日】 授業担当で協議して課題を出す。 【試験日】 試験は実施していない。
その他の共同担当科目	【通常授業日】 授業担当で協議して課題を出す。 【試験日】 追試験または課題の提出をもって評価を行うが、その選択は担当者に任せる。

以上